

Cisco UCS XE130c M8 コンピューティング ノード



CISCO SYSTEMS
170 WEST TASMAN DR.
SAN JOSE, CA, 95134
WWW.CISCO.COM

出版履歴

改訂 A.04 2025 年 12 月 2 日

概要	3
詳細図	4
Cisco UCS XE130c M8 コンピューティング ノード正面図	4
コンピューティング ノードの標準機能と特長	6
Cisco UCS XE 130c M8 コンピューティング ノードの構成	8
ステップ 1 Base Cisco UCS XE130c M8 コンピューティング ノード SKU の選択	9
ステップ 2 AI インテントを選択する（必須）	10
ステップ 3 メモリを選択する（必須）	11
メモリ構成と混合ルール	14
ステップ 4 または GPU を選択する（オプション）	15
ステップ 5 M.2 ブート RAID コントローラと SATA SSD を選択する（オプション）	16
ステップ 6 ライザーを選択する（必須）	17
ステップ 7 ドライブを選択する（オプション）	18
ステップ 8 オプション カードを選択します（オプション）	19
ステップ 9 オプションのトラステッド プラットフォーム モジュール を選択する	20
ステップ 10 オペレーティング システムとサードパーティ ソフトウェアを選択する	21
ステップ 11 Intersight の選択	29
参考資料	30
システム ボード	30
技術仕様	31
寸法と重量	31
環境仕様	31
システム要件	31
電力仕様	32

概要

Cisco Unified Edge は、コンピューティング、ストレージ、ルーティング、スイッチング、およびセキュリティを単一の構成可能なソリューションに統合し、IT 組織がグローバル規模でエッジインフラストラクチャのデプロイメント、運用、ライフサイクル管理を簡素化できるようにします。Cisco Unified Edge は、完全に統合され、エッジに最適化された、AI 対応の SaaS マネージド プラットフォームであり、さまざまなエッジユースケースに対して、これまでにない可視性、一貫性、および制御を備えた優れたユーザーエクスペリエンスを提供するように設計されています。

Cisco Unified Edge は、3RU の奥行き短いマルチマウント可能なシャーシを備えたモジュラ エッジ プラットフォームで、拡張された温度範囲（5 ~ 45 °C）で動作し、静音プロファイル（25 °で 40s dBA）を維持する機能を備えています。C および 20% PWM）をサポートし、高微粒子環境に対する保護機能を提供し、物理に幅広いスペースへの展開を可能にします。

Cisco UCS XE130c M8 は、1RU、ハーフ幅のコンピューティング ノード ファミリです。Cisco UCS XE9305 シャーシには、最大 5 つの Cisco UCS XE130c M8 コンピューティングノードを収容できます。企業クラス、パフォーマンス、汎用性、密度を提供しますが、エッジに最適化されたコンパクトなフォームファクタを実現しています。パフォーマンスコアを備えた Intel（Xeon）プロセッサを搭載し、2 つのライザー構成（「ストレージ最適化」と「IO 最適化」）で利用可能な Cisco UCS XE130c M8 は、エッジで業界をリードする適応性を提供します。さまざまな PCIe アクセラレータ（GPU など）とアダプタ、およびシャーシ内ネットワーク ミッドプレーンに接続する 2 つの前面パネル 1/10 Gbps NIC と 2 つの背面 25 Gbps NIC との統合ネットワーク。この汎用性により、Cisco UCS XE130c M8 は、ベアメタル サーバー、仮想化、コンテナ、AI/ML などの幅広いワークロードをデプロイメントのための構成要素として使用できます。

注：仕様シートに記載されているすべてのオプションは、Intersight 管理モードの構成と互換性があります。Intersight 管理モードのすべてのコンポーネントのファームウェア要件については、[がサポートする システムを参照してください](#)。

図 1 Cisco UCS XE130c M8 コンピューティング ノードの正面図

4 ドライブ構成



3 ドライブ構成



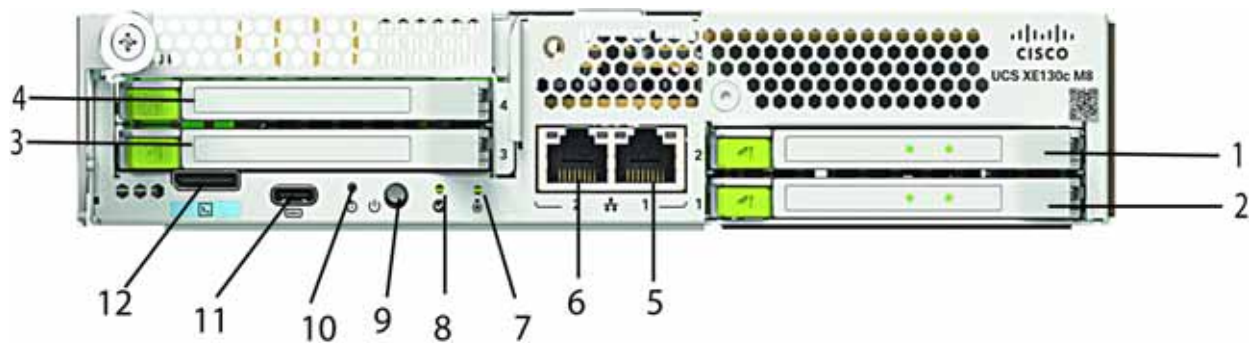
詳細図

Cisco UCS XE130c M8 コンピューティング ノード正面図

図 3 & 図 3 は、Cisco UCS XE130c M8 コンピューティング ノードの正面図です。

図 2 Cisco UCS XE130c M8 コンピューティング ノード 正面図（4 ドライブ構成）

4 ドライブ構成のストレージ ライザーを選択した場合



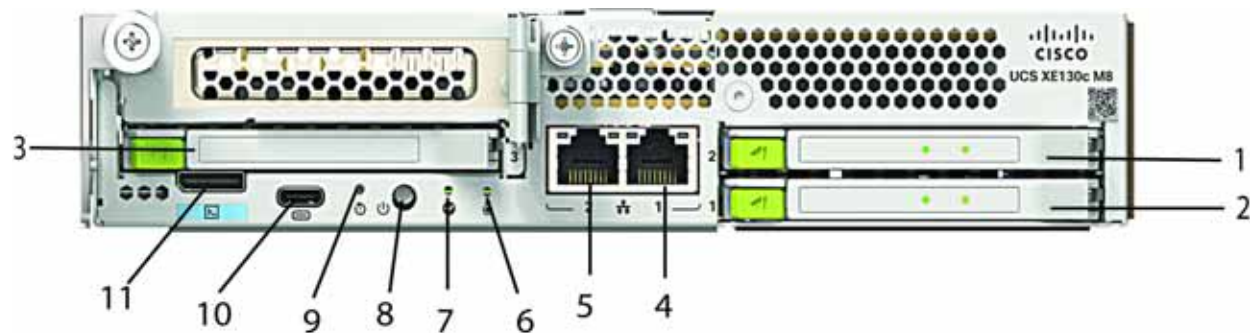
1	ドライブ ベイ 1 (装着済み)	7	ステータス LED
2	ドライブ ベイ 2 (装着済み)	8	ネットワーク アクティビティ LED
3	ドライブ ベイ 3 (装着済み)	9	電源ボタン /LED
4	ドライブ ベイ 3 (装着済み)	10	ボタン /LED を探す
5	RJ45 コネクタ	11	USB-C コンソール
6	RJ45 コネクタ	12	OCuLink コンソール ポート ¹

注:

1. OcuLink ポートを移行シリアル USB およびビデオ (SUV) タコケーブルに接続するには、アダプタ ケーブル (PID UCSX-C-DEBUGCBL) が必要です。

図 3 Cisco UCS XE130c M8 コンピューティングノード 正面図 (3 ドライブ構成)

3 ドライブ構成のストレージ ライザーを選択した場合



1	ドライブ ベイ 1 (装着済み)	7	ネットワーク アクティビティ LED
2	ドライブ ベイ 2 (装着済み)	8	電源ボタン /LED
3	ドライブ ベイ 3 (装着済み)	9	ボタン /LED を探す
4	RJ45 コネクタ	10	USB-C コンソール
5	RJ45 コネクタ	11	OCuLink コンソール ポート ¹
6	ステータス LED	-	-

注:

1. OCUlink ポートを移行シリアル USB およびビデオ (SUV) タコケーブルに接続するには、アダプタ ケーブル (PID UCSX-C-DEBUGCBL) が必要です。

コンピューティング ノードの標準機能と特長

表 1 に、Cisco UCS XE130c M8 コンピューティング カートリッジ本体の機能と特徴を示します。特定の機能（プロセッサの GPU 数、ドライブ、メモリ容量など）に関するコンピューティング ノードの構成方法については、以下を参照してください。[Cisco UCS XE 130c M8 コンピューティング ノードの構成 ページ 8](#)

表 1 機能と特長

機能 / 特長	説明
フォーム ファクタとシャーシ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1RU 高かつハーフ幅のコンピューティングノード。 ■ Cisco UCS XE130c M8 コンピューティング ノードは、Cisco UCS XE9305 シャーシに取り付けます。
CPU	P コアプロセッサを搭載した 1 つの Intel® Xeon® 6 SoC、12、20、または 32 個の物理コアを搭載。
メモリ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合計 8 個の DDR5 DIMM スロット、最大 6400 MT/s RDIMM ■ 8 つの 96 GB DDR5-6400 DIMM で最大 768 GB のメインメモリ。
GPU	<ul style="list-style-type: none"> ■ HHHL GPU 用の 1 つの専用 PCIe Gen5 GPU スロット
Networking	<ul style="list-style-type: none"> ■ シャーシ ミッドプレーンを介して両方の Cisco UCS XE シャーシ管理コントローラの組み込みスイッチに接続する 2 つの背面統合 25 Gbps アップリンクポート。 ■ 前面にある 2 つの統合 10 Gbps RJ45 ホスト ポート。
ストレージ	<p>Cisco UCS XE130c M8 コンピューティング ノードでは、次の 2 種類のフラッシュストレージ オプションを同時に使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 内部 M.2 SSD : ハードウェア RAID 1 によって保護される最大 2 つの M.2 SSD ■ 前面 E3.S NVMe ドライブ : <ul style="list-style-type: none"> • ストレージ最適化」構成 : 最大 4 つの E3.S NVMe ドライブスロット • I/O 最適化構成 : 最大 3 つの E3.S NVMe ドライブ スロット
PCIe アダプタ	<ul style="list-style-type: none"> ■ HHHL PCIe アダプタ用の 1 つの PCIe Gen5 スロットには、IO 最適化構成が必要です。
前面パネル インターフェイス	<ul style="list-style-type: none"> ■ KVM コネクタ X 1 ■ USB-C ポート
電源サブシステム	電源は Cisco UCS XE9305 シャーシの電源から供給されます。Cisco UCS XE 130c M8 コンピューティング ノードは、最大 425 W を消費します。
Fans	Cisco UCS X9305 シャーシに統合。

表 1 機能と特長 (続き)

機能 / 特長	説明
組み込み管理プロセス	<ul style="list-style-type: none"> ■ 組み込みの Cisco Integrated Management Controller を使用すれば、Cisco UCS XE130c M8 コンピューティング ノード インベントリ、正常性、およびシステムイベントログを監視することができます。 ■ ASPEED AST2600
ファームウェア規格	<ul style="list-style-type: none"> ■ UEFI 仕様 2.9 ■ ACPI 6.5 ■ SMBIOS Ver 3.7
前面インジケータ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源ボタンおよびインジケータ ■ システム インジケータ ■ ロケーションボタンとインジケータ
管理	<ul style="list-style-type: none"> ■ Cisco Intersight ソフトウェア (SaaS、仮想アプライアンスおよびプライベート仮想アプライアンス)
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ■ サーバーはオプションの Trusted Platform Module (TPM) をサポートします。追加機能には、セキュア ブート FPGA および ACT2 偽造防止条項が含まれます。

注：

1. 仮想アプライアンスおよびプライベート仮想アプライアンスが使用可能なポスト FCS。

Cisco UCS XE 130c M8 コンピューティング ノードの構成

次の手順に従って、Cisco UCS XE130c M8 コンピューティング ノードを構成します。

- [ステップ 1 Base Cisco UCS XE130c M8 コンピューティング ノード SKU の選択ページ 9](#)
- [ステップ 2 AI インテントを選択する \(必須\) ページ 10](#)
- [ステップ 3 メモリを選択する \(必須\) ページ 11](#)
- [ステップ 4 または GPU を選択する \(オプション\) ページ 15](#)
- [ステップ 5 M.2 ブート RAID コントローラと SATA SSD を選択する \(オプション\) ページ 16](#)
- [ステップ 6 ライザーを選択する \(必須\) ページ 17](#)
- [ステップ 7 ドライブを選択する \(オプション\) ページ 18](#)
- [ステップ 8 オプション カードを選択します \(オプション\) ページ 22](#)
- [ステップ 9 オプションのトラステッド プラットフォーム モジュール を選択するページ 20](#)
- [ステップ 10 オペレーティング システムとサードパーティ ソフトウェアを選択するページ 21](#)

ステップ1 Base Cisco UCS XE130c M8 コンピューティング ノード SKU の選択

Cisco UCS X210c M8 コンピューティングノードのトップ レベルの注文用製品 ID (PID) を次に示します: [表 2](#)

表 2 トップレベルの発注 PID

製品 ID (PID)	説明
UCSX-E-M8-MLB	Unified Edge シャーシおよびノード MLB

[表 3](#) に示すような XE130c M8、Cisco UCS X210c M8 コンピューティング ノードの製品 ID (PID) を選択します。



注:

- CPU コア数は SKU の一部であり、変更できません。目的の CPU コア数とスレッド数に基づいてノードを選択します。
- UCSXE-130C-M8-12、UCSX-E-130C-M8-20、UCSX-E-130C-M8-32 (非スタンドアロンノード) の場合: これらは必要な選択、複数選択、最小 1 (3 スレッド中) スレッド) およびシャーシごとに最大 5 つの合計コンピューティングノード。

表 3 Base Cisco UCS XE130c M8 コンピューティング ノードの PID

製品 ID (PID)	説明
UCSX-E-130C-M8-12	Cisco UCS XE130c M8 12 コア 1U コンピューティングノード (メモリ、ライザー、ドライブ、GPU、またはアダプタなし) (UCS XE9305 シャーシ オプションとして注文)
UCSX-E-130C-M8-20	Cisco UCS XE130c M8 20 コア 1U コンピューティングノード (メモリ、ライザー、ドライブ、GPU、またはアダプタなし) (UCS XE9305 シャーシ オプションとして注文)
UCSX-E-130C-M8-32	Cisco UCS XE130c M8 32 コア 1U コンピューティングノード (メモリ、ライザー、ドライブ、GPU、またはアダプタなし) (UCS XE9305 シャーシ オプションとして注文)
UCSX-E-130C-M8-12-U	Cisco UCS XE130c M8 12 コア 1U コンピューティングノード (メモリ、ライザー、ドライブ、GPU、またはアダプタなし) (スタンドアロンで注文)
UCSX-E-130C-M8-20-U	Cisco UCS XE130c M8 20 コア 1U コンピューティングノード (メモリ、ライザー、ドライブ、GPU、またはアダプタなし) (スタンドアロンで注文)
UCSX-E-130C-M8-32-U	Cisco UCS XE130c M8 32 コア 1U コンピューティングノード (メモリ、ライザー、ドライブ、GPU、またはアダプタなし) (スタンドアロンで注文)

[表 3](#) で注文した base Cisco UCS X210c M8 コンピューティングノードには、コンポーネントやオプションは含まれていません。製品の構成時に選択する必要があります。

後続のページの手順に従って、コンピューティング ノードを機能させるのに必要な以下のコンポーネントを構成してください。

- GPU
- メモリ
- ライザー
- ドライブ
- TPM

ステップ2 AI インテントを選択する（必須）

AI インテントの選択

使用可能な AI Intent オプションは [表 4](#) にリストされています。



注：スタンドアロン（-U）コンピューティング ノードの場合、プライマリ ユースケースを定義するために必要な AI インテントを選択する必要があります。

表 4 使用可能な AI インテント

GPU 製品 ID（PID）	PID の説明
コンピューティング AI	コンピューティング人工知能のユースケース
コンピューティング	コンピューティングのその他の活用ケース

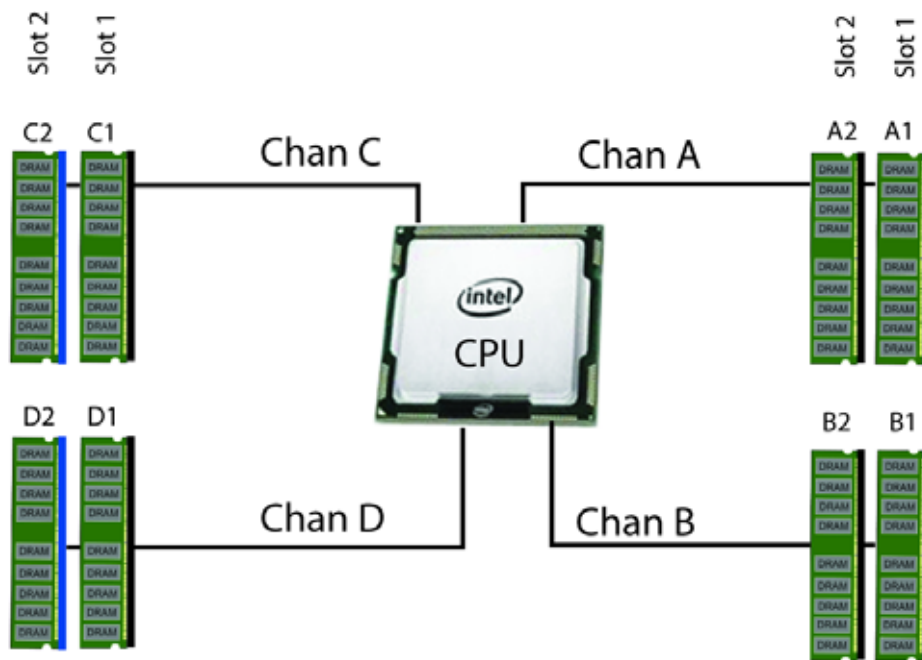
ステップ3 メモリを選択する（必須）

次に表 5 サーバでサポートされるメイン メモリ DIMM 機能について説明します。

表 5 サーバメイン メモリ機能

メモリ サーバ テクノロジー	説明
	DIMM
Intel® Xeon® CPU 世代	P コアプロセッサ搭載の Intel® Xeon® 6 SoC
DDR5 メモリのクロック速度	Intel XeonR 6 CPU : 最大 8000 MT/s 1DPC
動作時の電圧	1.1 ボルト
DRAM ファブ密度	16Gb および 24Gb
メモリタイプ	RDIMM (登録済み DDR5 DIMM)
メモリ DRAM DIMM 組織	CPU ごとにメモリ DOMM チャンネル × 4。 チャンネルごとに最大 2 DIMM
サーバごとの DRAM DIMM の最大数	8 (1-ソケット)
DRAM DIMM の密度とランク	16GB 1Rx8、32GB 1Rx4、48GB 1Rx4、64GB 2Rx4、96GB 2Rx4
最大システム容量	768GB (8x96GB)

図 4 XE130c M8 メモリ構成ブロック図



4 memory channels per CPU and up to 2 DIMMs per channel
8 DIMMs in total (Single CPU)

DIMM の選択

メモリの構成とメモリ ミラーリング オプションが必要かどうかを選択します。利用可能なメモリ DIMM とミラーリング オプションは、[表 6](#) に記載されています。



注：

- メモリのミラーリングをイネーブルにすると、メモリ サブシステムによって同一データが 2 つのチャンネルに同時に書き込まれます。片方のチャンネルに対してメモリの読み取りを実行した際に訂正不可能なメモリ エラーによって誤ったデータが返されると、システムはもう片方のチャンネルからデータを自動的に取得します。片方のチャンネルで一時的なエラーまたはソフト エラーが発生しても、ミラーリングされたデータが影響を受けることはありません。DIMM とそのミラーリング相手の DIMM に対してまったく同じ場所で同時にエラーが発生しない限り、動作は継続します。メモリのミラーリングを使用すると、2 つの装着済みチャンネルの一方からしかデータが提供されないため、オペレーティング システムで使用可能なメモリ量が 50 % 減少します。
- Intel® Xeon® 6 SoC CPU とペアリングする場合、すべてのメモリ DIMM は Cisco DDR5-6400 メモリ PID である必要がありますが、メモリは Intel® Xeon® 6 SoC CPU メモリ コントローラの最大速度（最大 5600 MT/s）で動作します。

表 6 メモリ オプション

製品 ID (PID)	PID の説明	ランク /DIMM
DDR5-6400 MT/s Cisco メモリ PID リスト ¹		
UCSX-E-MRX16G1RE5	16GB RDIMM 1Rx8 1.1V (16Gb)	1
UCSX-E-MRX32G1RE5	32GB RDIMM 1Rx4 1.1V (16Gb)	1
UCSX-E-MRX48G1RF5	48GB RDIMM 1Rx4 1.1V (24Gb)	1
UCSX-E-MRX64G2RE5	64GB RDIMM 2Rx4 1.1V (16Gb)	2
UCSX-E-MRX96G2RF5	96GB RDIMM 2Rx4 1.1V (24Gb)	2
メモリ ミラーリング オプション		
N01-MMIRRORD	メモリ ミラーリング オプション	
メモリ構成に含まれるアクセサリ / スペア：		
■ UCS-DDR5-BLK ² は、未使用の DIMM スロットに自動的に含まれます		

注：

1. メモリは、Intel® Xeon® 6 SoC CPU メモリ コントローラの最大速度で動作します（最大 5600 MT/s）。[表 7](#) で CPU の最高クロック速度を確認します。
2. 適切な冷却エアフローを維持するために、空の DIMM スロットに DIMM ブランクを取り付ける必要があります。

表 7 Intel® Xeon® 6 スケーラブル CPU

CPU 番号 (PID)	コア (C)	クロック周波数 GHz	電源 (W)	DDR5 DIMM の最大クロック (MT/s)
6543P-B	32	2.00	160	5600
6513P-B	20	2.00	130	5600
6503P-B	12	2.00	110	4800

メモリ構成と混合ルール

- **ゴールデン ルール**：すべての CPU ソケットのメモリは、同じように構成する必要があります。バランスの取れていない装着はサポートされていません。チャンネル内またはチャンネル間で異なる密度の DIMM を混在させることはサポートされていません。
- サポートされているメモリ構成の詳細については、『[UCS XE130C M8 メモリ ガイド](#)』を参照してください。

ステップ4 または GPU を選択する（オプション）

GPU の選択

使用可能なコンピューティング ノード GPU オプションを次に示します。表 8



注：

- GPU の選択はオプションであり、コンピューティングノードごとに最大 1 つの GPU を選択できます。
- GPU を選択するには、必要な NVIDIA AI Enterprise（NVAIE）ソフトウェアライセンスが必要です。サポートされている GPU の完全なリストについては、ハードウェアおよびソフトウェア互換性リスト（HCL）を参照してください。

表 8 使用可能な GPU カード

GPU 製品 ID（PID）	PID の説明
UCSX-E-GPU-L4	NVIDIA L4:70W、24GB、1 スロット HHHH GPU

ステップ5 M.2 ブート RAID コントローラと SATA SSD を選択する（オプション）

- Cisco M.2 ドライブを選択：一致する 2 台の M.2 ドライブを注文します。このコネクタは、ブート用に最適化された RAID コントローラを受け入れます（表 10 を参照）。各ブート用に最適化された RAID コントローラは、表 9 に示すように 2 台の M.2 ドライブに対応できます。



注：

- 各ブート用に最適化された RAID コントローラは、表 9 に示すように 2 台の M.2 ドライブに対応できます。ブートに最適化された RAID コントローラがマザーボードに接続されます。
- M.2 ドライブをブート専用デバイスとして使用することをお勧めします。
- M.2 ドライブは UEFI ブート モードのみをサポートします。レガシ ブート モードはサポートされていません。
- 2 台のドライブを選択した場合は、2 台以上のドライブが必要です。ドライブは 0 または 2 の数量で選択する必要があります（数量 1 は許可されません）。1 つのコンピューティングノード内で異なる M.2 SATA SSD キャパシティを混在させることはできません。
- E3.S NVMe ドライブもブートに使用できるため、M.2 ドライブはオプションです。

表 9 M.2 ドライブ

製品 ID (PID)	PID の説明
UCSX-E-M2-240G	240GB 2.5 インチ M.2 SATA Micron G2 SSD
UCSX-E-M2-480G	480 GB 2.5 インチ M.2 SATA Micron G2 SSD
UCSX-E-M2-960G	960GB 2.5 インチ M.2 SATA Micron G2 SSD
UCSX-E-M22400A1V	240GB M.2 Boot Solidigm S4520 SATA 1X SSD
UCSX-E-M24800A1V	480GB M.2 Boot Solidigm S4520 SATA 1X SSD

- Cisco 6GB/秒 s SATA ブート最適化 M.2 RAID コントローラ（付属）：2 つの SATA M.2 ストレージモジュールにわたるハードウェア RAID 用のブート最適化 RAID コントローラ（UCSX-M2I-HWRD-FPS）。ブート最適化 RAID コントローラはマザーボードに接続し、M.2 SATA ドライブはブート最適化 RAID コントローラに接続します。



注：

- UCSXE-M2-HWRD2 は、M.2 ドライブが選択されている場合、サーバ構成に自動的に含まれます。
- UCSXE-M2-HWRD2 コントローラは RAID 1 および JBOD モードをサポートし、表 9 に示された M.2 SATA SSD でのみ利用できます。
- Cisco Intersight は、ボリュームの設定とコントローラおよび取り付け済みの SATA M.2 ドライブのモニタリングに対応しています。
- ホットプラグの交換はサポートされていません。交換するには、コンピューティングノードの電源をオフにする必要があります。

表 10 M.2 RAID コントローラ

製品 ID (PID)	PID の説明
UCSX-E-M2-HWRD2	UCS XE シリーズ コンピューティングノード用 M.2 RAID コントローラ

ステップ6 ライザーを選択する（必須）

ライザーの PID が [表 11](#) に表示されます。

表 11 ライザーの PID

製品 ID (PID)	説明	動作確認済みの構成
ストレージ ライザー		
UCSX-E1U-E3S-2L	UCS XE9305 シャーシ用の左 E3.S 2 ドライブ ライザー アセンブリ (4 ドライブ バック プレーン)	UCSX-E1U-E3S-1L ストレージ ライザーがサーバ構成に含まれている場合、UCSX-E1U- PCI-L IO ライザーも必要です。
UCSX-E1U-E3S-1L	UCS XE9305 シャーシ用の左 E3.S 1 ドライブ ライザー アセンブリ (3 ドライブ バック プレーン)	
IO ライザー		
UCSX-E1U-PCI-L	UCS XE9305 シャーシの左 PCIe ライザー	サーバ構成で UCSX-E1U- PCI-L IO ライザーを選択した場合は、UCSX-E1U-E3S-1L ストレージ ライザーも選択する必要があります。

ステップ7 ドライブを選択する（オプション）

ディスク ドライブの標準仕様は次のとおりです。

- E3.S 1 NVMe ドライブ
- ホットプラグ可能
- ドライブはスレッド マウントされた状態で提供

ドライブを選択する

使用できるドライブを次に示します。表 12



注：

- M.2 ブート ドライブが選択されている場合、E3.S ドライブはオプションです。
- M.2 ブートドライブが選択されていない場合は、少なくとも 1 つの E3.S ドライブが必要です。
- UCSXE-1U-E3S-2L ライザーを選択した場合、E3.S ドライブの最大数は 4 です。
- UCSXE-1U-PCI-L（左 PCIe ライザー）を選択した場合、E3.S ドライブの最大数は 3 です。

表 12 使用可能な E3.S 1T NVMe ドライブ

製品 ID (PID)	PID の説明	スピード	キャパシティ
UCSXE-NVE11T6K1P	1.6TB E3.S1T KCD8XPJE HgPerf HgEnd 第 5 世代 3X NVMe (SIE SCEF)	3 倍	1.6 TB
UCSXE-NVE13T2K1P	3.2TB E3.S1T KCD8XPJE HgPerf HgEnd 第 5 世代 3X NVMe (SIE SCEF)	3 倍	3.2 TB
UCSXE-NVE16T4K1P	6.4TB E3.S1T KCD8XPJE HgPerf HgEnd 第 5 世代 3X NVMe (SIE SCEF)	3 倍	6.4 TB
UCSXE-NVE112T8K1P	12.8TB E3.S1T KCD8XPJE HgPerf HgEnd 第 5 世代 3X NVMe (SIE SCEF)	3 倍	12.8 TB
UCSXE-NVE11T9K1V	1.9TB E3.S1T KCD8XPJE HgPerf MedEnd 第 5 世代 1X NVMe (SIE SCEF)	1X	1.9 TB
UCSXE-NVE13T8K1V	3.8TB E3.S1T KCD8XPJE HgPerf MedEnd 第 5 世代 1X NVMe (SIE SCEF)	1X	3.8 TB
UCSXE-NVE17T6K1V	7.6TB E3.S1T KCD8XPJE HgPerf MedEnd 第 5 世代 1X NVMe (SIE SCEF)	1X	7.6 TB
UCSXE-NVE115T3K1V	15.3TB E3.S1T KCD8XPJE HgPerf MedEnd 第 5 世代 1X NVMe (SIE SCEF)	1X	15.3 TB
ドライブに含まれるアクセサリ / スペア <ul style="list-style-type: none"> ■ UCSXE-E3S1T-F は、装着されていない前面ストレージ デバイス ベイ用に含まれています。 			

ステップ8 オプション カードを選択します (オプション)

最新のサーバ互換性については、<https://ucshcltool.cloudapps.cisco.com/public/> にあるハードウェアとソフトウェアの互換性リスト (HCL) を確認してください。

標準搭載される PCIe カードは、次のとおりです。

- ネットワーク インターフェイス カード (NIC)
- ホスト バス アダプタ (HBA)

オプション カードを選択する

使用可能なオプション カードを [表 13](#) に示します。



注：

- PCIe アダプタの選択はオプションであり、コンピューティングノードごとに最大 1 つの PCIe アダプタ。
- PCIe アダプタを選択するには、UCSX-E-1U-PCI-L (左 PCIe ライザー) を選択する必要があります。

表 13 使用可能な PCIe オプション カード

製品 ID (PID)	PID の説明	参照先	カード サイズ ¹
ネットワーク インターフェイス カード (NIC)			
1GbE NIC			
UCSX-E-P-IQ1GC	Cisco-Intel I710-T4L 4x1GBASE-T NIC	左 PCIe ライザー (S2)	HHHL、SS
10GbE NIC			
UCSX-E-P-ID10GC	Cisco-Intel X710T2LG 2x10GBE RJ45 PCIe NIC	左 PCIe ライザー (S2)	HHHL、SS
UCSX-E-P-IQ10GC	Cisco-Intel X710T4LG 4x10GBE RJ45 PCIe NIC	左 PCIe ライザー (S2)	HHHL、SS
25GbE NIC			
UCSX-E-P-I8D25GF	Cisco-Intel E810XXVDA2 2x25/10GBE SFP28 PCIe NIC	左 PCIe ライザー (S2)	HHHL、SS
100GbE NIC			
UCSX-E-P-I8D100GF	Cisco-Intel E810CQDA2 2x100 GbE QSFP28 PCIe NIC	左 PCIe ライザー (S2)	HHHL、SS
HBA			
UCSX-E-P-Q7D64GF	Cisco-QLogic QLE2872 2x 16/32/64GFC Gen 7 Enhanced PCIe HBA	左 PCIe ライザー (S2)	HHHL、SS

注：

1. HHHL = ハーフハイト、ハーフレングス。FHHL = フルハイト、ハーフレングス。SS = シングルスロット。DS = ダブルスロット。SFF = スモール フォーム ファクタ。

ステップ9 オプションのトラステッド プラットフォーム モジュール を選択する

トラステッド プラットフォーム モジュール (TPM) は、プラットフォームまたは Cisco UCS XE130c M8 コンピューティング ノードの認証に使用されるアーティファクトを安全に保存可能なコンピュータ チップまたはマイクロコントローラです。これらのアーティファクトには、パスワード、証明書、または暗号キーを収録できます。プラットフォームが信頼性を維持していることを確認するうえで効果的なプラットフォームの尺度の保存でも、TPM を使用できます。すべての環境で安全なコンピューティングを実現するうえで、認証 (プラットフォームがその表明どおりのものであることを証明すること) および立証 (プラットフォームが信頼でき、セキュリティを維持していることを証明するプロセス) は必須の手順です。

表 14 使用可能な TPM オプション

製品 ID (PID)	説明
UCSX-TPM-002D	TPM 2.0 TCG FIPS140-2 CC+ Cert M7 Intel MSW2022 準拠



注:

- TPM の選択はオプションであり、コンピューティングノードごとに最大 1 つの TPM です。
- このシステムで使用される TPM モジュールは、信頼されたコンピューティンググループ (TCG) で定義されている TPM v2.0 に準拠しています。
- TPM の取り付けは、工場出荷後にサポートされます。ただし、TPM は一方向ネジで取り付けられるため、交換、アップグレード、あるいは別のコンピューティング ノードに取り付けたりすることはできません。TPM を搭載した Cisco UCS XE130c M8 コンピューティング ノードが返品された場合は、交換用のユニットを新しい TPM とともに注文する必要があります。Cisco UCS X210c M8 コンピューティング ノードに既存の TPM がない場合、TPM 2.0 を取り付けることができます。取り付ける場所と指示については、次のマニュアルを参照してください。

ステップ10 オペレーティング システムとサードパーティ ソフトウェアを選択する



注：

- オペレーティングシステムのガイダンスについては、<https://ucshcltool.cloudapps.cisco.com/public/> を参照してください。

表 15 オペレーティング システム

製品 ID (PID)	PID の説明
Microsoft Windows Server	
MSWS-22-ST16C	Windows Server 2022 Standard (16 コア /2 VM)
MSWS-22-ST16C-RM	Windows Server 2022 Standard (16 コア /2 VM) リカバリメディア DVD のみ
MSWS-22-STA2C	Windows Server 2022 Standard : 2 コア追加
MSWS-22-ST16C-NS	Windows Server 2022 Standard (16 コア /2 VM) Cisco SVC なし
MSWS-22-ST16C-RM	Windows Server 2022 Standard (16 コア /2 VM) リカバリメディア DVD のみ
MSWS-22-STA2C-NS	Windows Server 2022 Standard : 2 コア追加、Cisco SVC なし
MSWS-22-DC16C	Windows Server 2022 Data Center (16 コア /VM 無制限)
MSWS-22-DC16C-RM	Windows Server 2022 DC (16 コア /VM 無制限) リカバリメディア DVD のみ
MSWS-22-DCA2C	Windows Server 2022 Data Center : 2 コア追加
MSWS-22-DC16C-NS	Windows Server 2022 DC (16 コア /VM 無制限) Cisco SVC なし
MSWS-22-DC16C-RM	Windows Server 2022 DC (16 コア /VM 無制限) リカバリメディア DVD のみ
MSWS-22-DCA2C-NS	Windows Server 2022 DC : 2 コア追加、Cisco SVC なし
MSWS-25-ST16C	Windows Server 2025 Standard (16 コア /2 VM)
MSWS-25-ST16C-RM	Windows Server 2025 Standard (16 コア /2 VM) リカバリメディア DVD のみ
MSWS-25-STA2C	Windows Server 2025 Standard (追加 2 コア)
MSWS-25-STA4C	Windows Server 2025 Standard (追加 4 コア)
MSWS-25-STA16C	Windows Server 2025 Standard (追加 16 コア)
MSWS-25-ST16C-NS	Windows Server 2025 Standard (16 コア /2 VM): Cisco SVC なし
MSWS-25-ST16C-RM	Windows Server 2025 Standard (16 コア /2 VM) リカバリメディア DVD のみ
MSWS-25-STA2C-NS	Windows Server 2025 Standard : 2 コア追加、Cisco SVC なし
MSWS-25-STA4C NS	Windows Server 2025 Standard : 4 コア追加、Cisco SVC なし
MSWS-25-STA16C-NS	Windows Server 2025 Standard : 16 コア追加、Cisco SVC なし
MSWS-25-ST24C	Windows Server 2025 Standard (24 コア)

表 15 オペレーティング システム (続き)

製品 ID (PID)	PID の説明
MSWS-25-ST16C-RM	Windows Server 2025 Standard (16 コア /2 VM)、リカバリメディア DVD のみ
MSWS-25-STA2C	Windows Server 2025 Standard (追加 2 コア)
MSWS-25-STA4C	Windows Server 2025 Standard (追加 4 コア)
MSWS-25-STA16C	Windows Server 2025 Standard (追加 16 コア)
MSWS-25-ST24C-NS	Windows Server 2025 Standard (24 コア): Cisco SVC なし
MSWS-25-ST16C-RM	Windows Server 2025 Standard (16 コア /2 VM)、リカバリメディア DVD のみ
MSWS-25-STA2C-NS	Windows Server 2025 Standard : 2 コア追加、Cisco SVC なし
MSWS-25-STA4C NS	Windows Server 2025 Standard : 4 コア追加、Cisco SVC なし
MSWS-25-STA16C-NS	Windows Server 2025 Standard : 16 コア追加、Cisco SVC なし
MSWS-25-DC16C	Windows Server 2025 Data Center (16 コア /VM 無制限)
MSWS-25-DC16C-RM	Windows Server 2025 DC (16 コア /VM 無制限)、リカバリ メディア DVD のみ
MSWS-25-DCA2C	Windows Server 2025 Data Center : 2 コア追加
MSWS-25-DCA4C	Windows Server 2025 Data Center : 4 コア追加
MSWS-25-DCA16C	Windows Server 2025 Data Center : 16 コア追加
MSWS-25-DC16C-NS	Windows Server 2025 DC (16 コア /VM 無制限) Cisco SVC なし
MSWS-25-DC16C-RM	Windows Server 2025 DC (16 コア /VM 無制限)、リカバリ メディア DVD のみ
MSWS-25-DCA2C-NS	Windows Server 2025 DC : 2 コア追加、Cisco SVC なし
MSWS-25-DCA4C-NS	Windows Server 2025 DC : 2 コア追加、Cisco SVC なし
MSWS-25-DCA16C-NS	Windows Server 2025 DC : 4 コア追加、Cisco SVC なし
MSWS-25-DC24C	Windows Server 2025 Data Center : 4 コア追加
MSWS-25-DC16C-RM	Windows Server 2025 DC (16 コア /VM 無制限)、リカバリ メディア DVD のみ
MSWS-25-DCA2C	Windows Server 2025 Data Center : 2 コア追加
MSWS-25-DCA4C	Windows Server 2025 Data Center : 4 コア追加
MSWS-25-DCA16C	Windows Server 2025 Data Center : 16 コア追加
MSWS-25-DC24C-NS	Windows Server 2025 DC (24 コア): Cisco SVC なし
MSWS-25-DC16C-RM	Windows Server 2025 DC (16 コア /VM 無制限)、リカバリ メディア DVD のみ
MSWS-25-DCA2C-NS	Windows Server 2025 DC : 2 コア追加、Cisco SVC なし
MSWS-25-DCA4C-NS	Windows Server 2025 DC : 2 コア追加、Cisco SVC なし
MSWS-25-DCA16C-NS	Windows Server 2025 DC : 4 コア追加、Cisco SVC なし
Red Hat	

表 15 オペレーティング システム (続き)

製品 ID (PID)	PID の説明
RHEL-2S2V-1A	Red Hat Enterprise Linux (1 ~ 2 CPU、 1 ~ 2 VN) 1 年サポートが必要
RHEL-2S-RS-1A	RHEL Resilient Storage (1 ~ 2 CPU) 1 年サポートが必要
RHEL-2S-HA-1A	RHEL High Availability (1 ~ 2 CPU) 1 年サポートが必要
RHEL-2S2V-3A	Red Hat Enterprise Linux (1 ~ 2 CPU、 1 ~ 2 VN) 3 年サポートが必要
RHEL-2S-RS-3A	RHEL Resilient Storage (1 ~ 2 CPU) 3 年サポートが必要
RHEL-2S-HA-3A	RHEL High Availability (1 ~ 2 CPU) 3 年サポートが必要
RHEL-2S2V-5A	Red Hat Enterprise Linux (1 ~ 2 CPU、 1 ~ 2 VN) 5 年サポートが必要
RHEL-2S-RS-5A	RHEL Resilient Storage (1 ~ 2 CPU) 5 年サポートが必要
RHEL-2S-HA-5A	RHEL High Availability (1 ~ 2 CPU) 5 年サポートが必要
RHEL-VDC-2SUV-1A	仮想データセンター用 RHEL (1 ~ 2 CPU、 VN 無制限) 1 年サポートが必要
RHEL-2S-RS-1A	RHEL Resilient Storage (1 ~ 2 CPU) 1 年サポートが必要
RHEL-2S-HA-1A	RHEL High Availability (1 ~ 2 CPU) 1 年サポートが必要
RHEL-VDC-2SUV-3A	仮想データセンター用 RHEL (1 ~ 2 CPU、 VN 無制限) 3 年サポートが必要
RHEL-2S-RS-3A	RHEL Resilient Storage (1 ~ 2 CPU) 3 年サポートが必要
RHEL-2S-HA-3A	RHEL High Availability (1 ~ 2 CPU) 3 年サポートが必要
RHEL-VDC-2SUV-5A	仮想データセンター用 RHEL (1 ~ 2 CPU、 VN 無制限) 5 年サポートが必要
RHEL-2S-RS-5A	RHEL Resilient Storage (1 ~ 2 CPU) 5 年サポートが必要
RHEL-2S-HA-5A	RHEL High Availability (1 ~ 2 CPU) 5 年サポートが必要
Red Hat Ent Linux/High Avail/Res Strg/Scal	
RHEL-2S2V-1S	Red Hat Enterprise Linux (1 ~ 2 CPU、 1 ~ 2 VN) Prem 1 年 SnS
RHEL-2S2V-1YR	Red Hat Enterprise Linux (1 ~ 2 CPU、 1 ~ 2 VN) Prem 24 X 7 - 1 年
RHEL-2S2V-3S	Red Hat Enterprise Linux (1 ~ 2 CPU、 1 ~ 2 VN) Prem 3 年 SnS
RHEL-2S2V-3YR	Red Hat Enterprise Linux (1 ~ 2 CPU、 1 ~ 2 VN) Prem 24 X 7 - 3 年
RHEL-2S-HA-1S	RHEL High Availability (1 ~ 2 CPU) Prem 1 年 SnS
RHEL-2S-HA-1YR	RHEL High Availability (1 ~ 2 CPU) プレミアム 24 x 7、 1 年
RHEL-2S-HA-3S	RHEL High Availability (1 ~ 2 CPU) Prem 3 年 SnS
RHEL-2S-HA-3YR	RHEL High Availability (1 ~ 2 CPU) プレミアム 24 x 7、 3 年
RHEL-2S-RS-1S	RHEL Resilient Storage (1 ~ 2 CPU) Prem 1 年 SnS
RHEL-2S-RS-1YR	RHEL Resilient Storage (1 ~ 2 CPU) プレミアム 24 x 7、 1 年
RHEL-2S-RS-3S	RHEL Resilient Storage (1 ~ 2 CPU) Prem 3 年 SnS

表 15 オペレーティング システム (続き)

製品 ID (PID)	PID の説明
RHEL-2S-RS-3YR	RHEL Resilient Storage (1 ~ 2 CPU) プレミアム 24 x 7、3 年
RHEL-VDC-2SUV-1S	仮想データセンター用 RHEL (1 ~ 2 CPU、VN 無制限) 1 年 SnS が必要
RHEL-VDC-2SUV1YR	仮想データセンター用 RHEL、Prem 24x7、1 年 SnS が必要
RHEL-VDC-2SUV-3S	仮想データセンター用 RHEL (1 ~ 2 CPU、VN 無制限) 3 年 SnS が必要
RHEL-VDC-2SUV3YR	仮想データセンター用 RHEL、Prem 24x7、3 年 SnS が必要
Red Hat SAP	
RHEL-SAP-2S2V-1S	SAP アプリケーション用 RHEL (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VN) Prem 1 年 SnS
RHEL-SAP-2S2V1YR	SAP アプリケーション用 RHEL (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VN) Prem 24 X 7 - 1 年
RHEL-SAP-2S2V-3S	SAP アプリケーション用 RHEL (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VN) Prem 3 年 SnS
RHEL-SAP-2S2V3YR	SAP アプリケーション用 RHEL (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VN) Prem 24 X 7 - 3 年
RHEL-SAPSP-3S	RHEL SAP Solutions Premium - 3 年間の SnS ライセンス
RHEL-SAPSS-3S	RHEL SAP Solutions Standard - 3 年間の SnS ライセンス
SuSE	
SLES-2S2V-1S	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM) 優先 1 年 SnS
SLES-2S2V-1YR	SUSE Linux Entp サーバー (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM) 優先順位 SnS 24 X 7 - 1 年
SLES-2S2V-3S	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM) 優先 3 年 SnS
SLES-2S2V-3YR	SUSE Linux Entp サーバー (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM) 優先順位 SnS 24 X 7 - 3 年
SLES-2S2V-5S	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM) 優先 5 年 SnS
SLES-2S2V-5YR	SUSE Linux Entp サーバ (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM) 優先順位 SnS 24 X 7 - 5 年
SLES-2S-HA-1S	SUSE Linux 高可用性拡張 (1 ~ 2 CPU) 1 年 SnS
SLES-2S-HA-1YR	SUSE Linux 高可用性拡張 (1 ~ 2 CPU) 継承 SnS - 1 年
SLES-2S-HA-3S	SUSE Linux 高可用性拡張 (1 ~ 2 CPU) 3 年 SnS
SLES-2S-HA-3YR	SUSE Linux 高可用性拡張 (1 ~ 2 CPU) 継承 SnS - 3 年
SLES-2S-HA-5S	SUSE Linux 高可用性拡張 (1 ~ 2 CPU) 5 年 SnS
SLES-2S-HA-5YR	SUSE Linux 高可用性拡張 (1 ~ 2 CPU) 継承 SnS - 1 年
SLES-2S-GC-1S	SUSE Linux HA 対応 Geo クラスタリング (1 ~ 2 CPU) 1 年 SnS
SLES-2S-GC-1YR	SUSE Linux Geo クラスタリング (1 ~ 2 CPU) 継承 SnS - 1 年
SLES-2S-GC-3S	SUSE Linux HA 対応 Geo クラスタリング (1 ~ 2 CPU) 3 年 SnS
SLES-2S-GC-3YR	SUSE Linux Geo クラスタリング (1 ~ 2 CPU) 継承 SnS - 3 年
SLES-2S-GC-5S	SUSE Linux HA 対応 Geo クラスタリング (1 ~ 2 CPU) 5 年 SnS

表 15 オペレーティング システム (続き)

製品 ID (PID)	PID の説明
SLES-2S-GC-5YR	SUSE Linux Geo クラスタリング (1 ~ 2 CPU) 継承 SnS - 5 年
SLES-2S-LP-1S	SUSE Linux Live パッチ アドオン (1 ~ 2 CPU) 1 年 SnS が必要
SLES-2S-LP-1YR	SUSE Linux Live パッチ アドオン (1 ~ 2 CPU) 継承 SnS 1 年
SLES-2S-LP-3S	SUSE Linux Live パッチ アドオン (1 ~ 2 CPU) 3 年 SnS が必要
SLES-2S-LP-3YR	SUSE Linux Live パッチ アドオン (1 ~ 2 CPU) 継承 SnS 3 年
SLES-2SUV-1S	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、VM 無制限) LP、優先 1 年 SnS
SLES-2SUV-1YR	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、VM 無制限) LP、優先順位 SnS 24 X 7 - 1 年
SLES-2SUV-3S	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、VM 無制限) LP、優先 3 年 SnS
SLES-2SUV-3YR	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、VM 無制限) LP、優先順位 SnS 24 X 7 - 3 年
SLES-2SUV-5S	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、VM 無制限) LP、優先 5 年 SnS
SLES-2SUV-5YR	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、VM 無制限) LP、優先順位 SnS 24 X 7 - 5 年
SLES-2S2V-1A	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM) 1 年サポートが必要
SLES-2S2V-3A	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM) 3 年サポートが必要
SLES-2S2V-5A	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM) 5 年サポートが必要
SLES-2S-LP-1A	SUSE Linux Live Patching アドオン (1 ~ 2 CPU) 1 年サポートが必要
SLES-2S-LP-3A	SUSE Linux Live Patching アドオン (1 ~ 2 CPU) 3 年サポートが必要
SLES-2SUV-1A	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、VM 無制限) LP、1 年サポートが必要
SLES-2SUV-3A	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、VM 無制限) LP、3 年サポートが必要
SLES-2SUV-5A	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、VM 無制限) LP、5 年サポートが必要
SLES および SAP	
SLES-SAP-2S2V-1S	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM) 優先 1 年 SnS
SLES-SAP-2S2V1YR	SAP アプリケーション用 SUSE (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM) 優先順位 SnS 24 X 7 - 1 年
SLES-SAP-2S2V-3S	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM) 優先 3 年 SnS
SLES-SAP-2S2V3YR	SAP アプリケーション用 SUSE (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM) 優先順位 SnS 24 X 7 - 3 年
SLES-SAP-2S2V-5S	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM) 優先 5 年 SnS
SLES-SAP-2S2V5YR	SAP アプリケーション用 SUSE (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM) 優先順位 SnS 24 X 7 - 5 年

表 15 オペレーティング システム (続き)

製品 ID (PID)	PID の説明
SLES-SAP2SUV-1S	SUSE Linux Enterprise Server for SAP Applications (1 ~ 2 CPU、VM 無制限) LP、優先 3 年 SnS
SLES-SAP2SUV-1YR	SAP アプリ用 SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、VM 無制限) LP、優先順位 SnS 24 X 7 - 1 年
SLES-SAP2SUV-3S	SAP アプリ用 SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、VM 無制限) LP、優先 3 年 SnS
SLES-SAP2SUV-3YR	SAP アプリ用 SUSE ; (1 ~ 2 CPU、VM 無制限) LP、優先順位 SnS 24 X 7 - 3 年
SLES-SAP2SUV-5S	SUSE Linux Enterprise Server for SAP Applications (1 ~ 2 CPU、VM 無制限) LP、優先 3 年 SnS
SLES-SAP2SUV-5YR	SAP アプリ用 SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、VM 無制限) LP、優先順位 SnS 24 X 7 - 5 年
SLES-SAP-2S2V-1A	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、1 年サポートが必要
SLES-SAP-2S2V-3A	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、3 年サポートが必要
SLES-SAP-2S2V-5A	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、5 年サポートが必要
SLES-SAP2SUV-1A	SAP アプリ用 SLES HA 付き (1 ~ 2 CPU、VM 無制限) LP、1 年サポートが必要
SLES-SAP2SUV-3A	SAP アプリ用 SLES、HA 付き (1 ~ 2 CPU、VM 無制限) LP、3 年サポートが必要
SLES-SAP2SUV-5A	SAP アプリ用 SLES (1 ~ 2 CPU、VM 無制限) LP、5 年サポートが必要

表 16 サードパーティ ソフトウェア - RedHat

製品 ID (PID)	PID の説明
Red Hat OpenShift	
RH-OKE-B-P1S	OpenShift Kubernetes Eng (BM)、プレミアム 1 年 SnS が必要 (1-2 CPU-64core)
RH-OKE-B-P1Y	OpenShiftKubernetesEngine(BM),Prem1YSnS(1-2 CPUupto64cores)
RH-OKE-B-P3S	OpenShiftKubernetesEngine (BM)、プレミアム 3 年 SnS が必要 (1-2 CPU-64core)
RH-OKE-B-P3Y	OpenShiftKubernetesEngine(BM),Prem 3YSnS(1-2CPUupto64cores)
RH-OCP-B-P1S	OpenShiftContainerPlatform (BM)、Prem 1YSnS Req (1-2CPU-64core)
RH-OCP-B-P1Y	OpenShiftContainerPlatform(BM),Prem1YrSnS(1-2CPUupto64cores)
RH-OCP-B-P3S	OpenShiftContainerPlatform(BM),Prem 3YSnS Req(1-2CPU-64core)
RH-OCP-B-P3Y	OpenShiftContainerPlatform(BM),Prem3YSnS(1-2CPUupto64cores)
RH-OPP-B-P1S	OpenShift Platform Plus (BM)、プレミアム 3 年 SnS が必要 (1 ~ 2 CPU-64 コア)
RH-OPP-B-P1Y	OpenShiftPlatformPlus(BM),Prem1YSnS(1-2CPU upto 64cores)
RH-OPP-B-P3S	OpenShift Platform Plus (BM)、プレミアム 3 年 SnS が必要 (1 ~ 2 CPU-64 コア)

表 16 サードパーティ ソフトウェア - RedHat

製品 ID (PID)	PID の説明
RH-OPP-B-P3Y	OpenShiftPlatformPlus(BM),Prem3YsnS(1-2CPU upto 64cores)
RH-OPPDF-B-P1S	OPP および ODF Adv (BM) プレミアム 1 年 SnS が必要 (1 ~ 2CPU 最大 64 コア)
RH-OPPDF-B-P1Y	OPP および ODF Adv (BM) プレミアム 1 年 SnS (1 ~ 2CPU 最大 64 コア)
RH-OPPDF-B-P3S	OPP および ODF Adv (BM) プレミアム 3 年 SnS が必要 (1 ~ 2CPU 最大 64 コア)
RH-OPPDF-B-P3Y	OPP および ODF Adv (BM) プレミアム 3 年 SnS (1 ~ 2CPU 最大 64 コア)
RH-ACM-B-P1S	AdvancedClusterMgmt for OKE (BM) プレミアム 1 年 SnS が必要 (1 ~ 2CPU-64 コア)
RH-ACM-B-P1Y	AdvancedClusterMgmt for OKE (BM) プレミアム 1 年 SnS (1 ~ 2 CPU 最大 64 コア)
RH-ACM-B-P3S	AdvancedClusterMgmt for OKE (BM) プレミアム 3 年 SnS が必要 (1-2CPU-64 コア)
RH-ACM-B-P3Y	AdvancedClusterMgmt for OKE (BM) プレミアム 3 年 SnS (1 ~ 2 CPU 最大 64 コア)
RH-OAI-B-P1S	OpenShift AI (BM) プレミアム 1 年 SnS が必要 (1 ~ 2 CPU、最大 64 コア)
RH-OAI-B-P1Y	OpenShift AI (BM) プレミアム 1 年 SnS (1 ~ 2 CPU、最大 64 コア)
RH-OAI-B-P3S	OpenShift AI (BM) プレミアム 3 年 SnS が必要 (1 ~ 2 CPU、最大 64 コア)
RH-OAI-B-P3Y	OpenShift AI (BM) プレミアム 3 年 SnS (1 ~ 2 CPU、最大 64 コア)
RH-OCP-V-P1S	OpenShift コンテナ プラットフォーム、プレミアム 1 年 SnS が必要 (2 コアまたは 4 vCPU)
RH-OCP-V-P1Y	OpenShiftContainerPlatform,Prem1YsnS(2 cores or 4vCPUs)
RH-OCP-V-P3S	OpenShift コンテナ プラットフォーム、プレミアム 3 年 SnS が必要 (2 コアまたは 4 vCPU)
RH-OCP-V-P3Y	OpenShiftContainerPlatform,Prem3YsnS(2cores or 4vCPUs)
RH-OPP-V-P1S	OpenShift プラットフォーム Plus、プレミアム 1 年 SnS が必要 (2 コアまたは 4 vCPU)
RH-OPP-V-P1Y	OpenShift プラットフォーム Plus、プレミアム 1 年 SnS (2 コアまたは 4vCPU)
RH-OPP-V-P3S	OpenShift プラットフォーム Plus、プレミアム 3 年 SnS が必要 (2 コアまたは 4 vCPU)
RH-OPP-V-P3Y	OpenShift Platform Plus、プレミアム 3 年 SnS (2 コアまたは 4vCPU)
RH-OPPDF-V-P1S	OpenShiftPlatformPlus および ODFAdv、プレミアム 1 年 SnS が必要 (2 コアまたは 4vCPU)
RH-OPPDF-V-P1Y	OpenShiftPlatformPlus および ODFAdv、プレミアム 1 年 SnS (2 コアまたは 4vCPU)
RH-OPPDF-V-P3S	OpenShiftPlatformPlus および ODFAdv、プレミアム 3 年 SnS が必要 (2 コアまたは 4vCPU)

表 16 サードパーティ ソフトウェア - RedHat

製品 ID (PID)	PID の説明
RH-OPPDF-V-P3Y	OpenShiftPlatformPlus および ODFAdv、プレミアム 3 年 SnS (2 コアまたは 4vCPU)
RH-OAI-V-P1S	OpenShift AI、プレミアム 1 年 SnS が必要 (2 コアまたは 4vCPU)
RH-OAI-V-P1Y	OpenShift AI、プレミアム 1 年 SnS (2 コアまたは 4vCPU)
RH-OAI-V-P3S	OpenShift AI、プレミアム 3 年 SnS が必要 (2 コアまたは 4vCPU)
RH-OAI-V-P3Y	OpenShift AI、プレミアム 3 年 SnS (2 コアまたは 4vCPU)
Red Hat Ansible	
RH-AAP-1UCS-P1S	Ansible 自動化プラットフォーム、プレミアム 1 年 SnS が必要 (1 つの UCS サーバ)
RH-AAP-1UCS-P1Y	Ansible 自動化プラットフォーム、プレミアム 1 年 SnS (1 つの UCS サーバ)
RH-AAP-1UCS-P3S	Ansible 自動化プラットフォーム、プレミアム 3 年 SnS が必要 (1 つの UCS サーバ)
RH-AAP-1UCS-P3Y	Ansible 自動化プラットフォーム、プレミアム 3 年 SnS (1 つの UCS サーバ)
RH-AAP-100EP-P1S	Ansible 自動化プラットフォーム、プレミアム 1 年 SnS が必要 (100 エンドポイント)
RH-AAP-100EP-P1Y	Ansible 自動化プラットフォーム、プレミアム 1 年 SNS (100 エンドポイント)
RH-AAP-100EP-P3S	Ansible 自動化プラットフォーム、プレミアム 3 年 SnS が必要 (100 エンドポイント)
RH-AAP-100EP-P3Y	Ansible 自動化プラットフォーム、プレミアム 3 年 SnS (100 エンドポイント)

ステップ11 Intersight の選択

表 17 Intersight

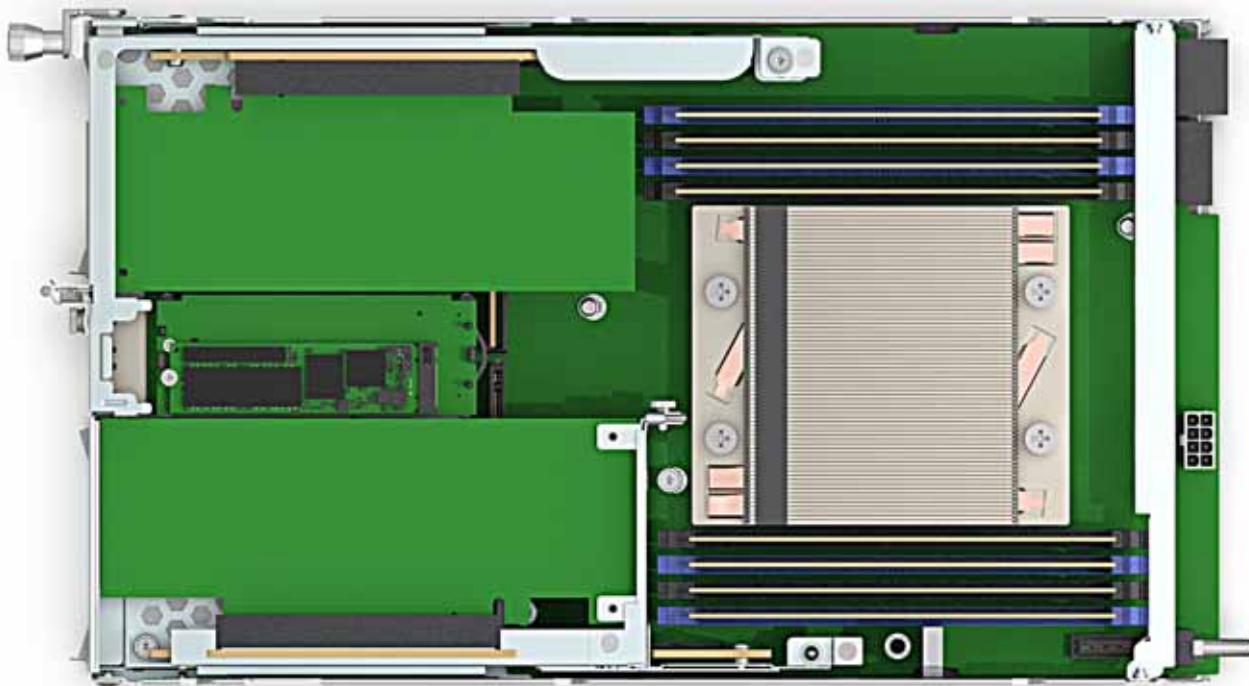
製品 ID (PID)	PID の説明
DC-MGT-XE	Cisco Intersight for UCSXE プロモーション
DC-MGT-XEPRO-PV-A	Cisco Intersight for UCSXE プロモーション PVA - Advantage
DC-MGT-XEPRO-PV-E	Cisco Intersight for UCSXE プロモーション PVA- Essentials
DC-MGT-XEPRO-PV-P	Cisco Intersight for UCSXE プロモーション PVA- Premier
DC-MGT-XEPRO-SA-A	Cisco Intersight for UCSXE プロモーション SAAS/CVA - Advantage
DC-MGT-XEPRO-SA-E	Cisco Intersight for UCSXE プロモーション SAAS/CVA - Essentials
DC-MGT-XEPRO-SA-P	Cisco Intersight for UCSXE プロモーション SAAS/CVA -Premier

参考資料

システム ボード

図 5 に、Cisco UCS XE130c M8 コンピューティングノードシステムボードの上面図を示します。

図 5 Cisco UCS XE130c M8 コンピューティング ノード システム ボード



技術仕様

寸法と重量

表 18 Cisco UCS XE130c M8 コンピューティング ノードの寸法と重量

パラメータ	値
高さ	41 mm (1.61 インチ)
幅	208 mm (8.19 インチ)
奥行き	352 mm (13.86 インチ)
重量	<ul style="list-style-type: none"> ■ 最小構成 ノード重量 = 3.0 kg (6.61 ポンド) ■ 完全に設定されたコンピューティングノードの重量 = 4.0 kg (8.82 ポンド)

環境仕様

表 19 Cisco UCS XE130c M8 コンピューティング ノード環境仕様

パラメータ	値
動作温度	-5 ~ 45°C (23 ~ 113°F)
保管温度	-40 ~ 85 °C (-40 ~ 185 °F)
湿度 (動作時)	5 ~ 85% (結露しないこと)
非動作時湿度	5 ~ 93 % (結露しないこと)
動作時の高度	0 ~ 10,000 フィート (0 ~ 3,000 m) (最高周囲温度は 300 m ごとに 1 °C 低下)
非動作高度	12,000 m (40,000 フィート)

システム要件

表 20 システム要件

パラメータ	値
Cisco Unified Edge シャーシ	Cisco UCS XE9305 シャーシ
Cisco Intersight	Intersight Managed Mode (サーバーごとに Essentials ライセンス以上)

電力仕様

構成固有の電力仕様については、次のページにある Cisco UCS Power Calculator を使用してください。

<http://ucspowercalc.cisco.com> [英語]



注：Cisco UCS XE130c サーバ ノードは、コンポーネント（CPU、DIMM、ドライブなど）のすべての組み合わせに対して 1300 ワットの電力上限があります。また、周囲温度は 35°C（95°F）未満である必要があります。

米国本社
Cisco Systems, Inc.
カリフォルニア州サンノゼ

アジア太平洋本社
Cisco Systems (USA), Pte. Ltd.
シンガポール

ヨーロッパ本社
Cisco Systems International BV
Amsterdam, The Netherlands

2023 年 11 月発行

© 2023 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

Cisco および Cisco ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧については、www.cisco.com/go/trademarks をご覧ください。記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」または「partner」という言葉が使用されていても、シスコと他社の間にパートナーシップ関係が存在することを意味するものではありません。1175152207 10/23

